

有限会社ワールドファーム

茨城県つくば市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

6次産業化を安定させ、「儲かる農業」で農産物の国産化を推進 農業担い手の育成に力を入れている

- 直営農場と収穫されたカット野菜の自社工場と、冷凍工場をユニット化し「儲かる農業」を実現
- 各地の高齢農家と提携し、収穫作業をサポート。国産野菜を通じて地域を元気に
- 「儲かる農業」を実現して若者の就農を促進し、農作物の持続的な供給体制を確立

企業基本情報

所在地	茨城県つくば市谷田部 3395-1
電話/FAX	029-839-0555/029-839-0551
URL	http://www.world-farm.co.jp/
代表者	代表取締役 上野 裕志
設立	2000年
資本金	5,500万円
従業員数	70人



会社概要

2000年設立の農地所有適格法人。全国15カ所の直営農場及び提携農場で収穫した国産野菜を自社工場にてカット、冷凍加工し、学校給食や外食産業向けの業務用野菜として提供している。

茨城県、熊本県及び鳥取県では農場と加工工場をユニットとして展開しており、「儲かる農業」を実践しながら農業者の担い手育成事業を推進し、国産業務用野菜の安定供給体制を整えながら業容を拡大している。



従業員一同

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 様々な工夫により「儲かる農業」を実現

直営農場と収穫されたカット野菜の自社工場と冷凍工場をユニット化することで、一人の従業員が両方の作業に従事。特に雨天時は工場内作業に専念する等、労務コストはもちろん、農場から工場への包装、運送コストも合理化している。

加えて、野菜にカット加工を加えるため、虫食いやサイズ外れ等の規格外野菜も不具合箇所を取り除き無駄なく製品化。原価低減も付加価値向上に寄与し、「儲かる農業」を実現している。



収穫と加工の様子

▶▶▶ 国産野菜を通じて地域を元気に

近年、国内農業人口の高齢化、後継者不足から耕作放棄地が増加している。高齢農家は収穫作業がボトルネックとなることから、予め作付を収穫可能な範囲にとどめる傾向があり、各地域の資源である農場が十分活用されない状況となっている。同社では各地の高齢農家とも連携。同社従業員が収穫作業をサポートすることで、放棄地拡大の抑制に貢献。農作物も買い上げながら、地域経済の活性化に寄与している。



ワールドファームの描く構想

▶▶▶ 若者の就農を促進し、農作物の持続的な供給体制を確立

農業就業人口は2016年に200万人を割り込み、平均年齢も65歳を超えて推移。給与や休暇等、魅力的な待遇を確保しづらいことが若年層の就農が進まない一因と考えられるが、同社従業員約70名の平均年齢は30歳程度。「儲かる農業」の実践により同社の給与は他業種と比較しても遜色ない水準を実現。また、分業による長時間労働からの解放や手厚い教育体制により、若手社員が定着。生き活きと働く若手社員が同社の供給体制を持続的なものとし、顧客からも高く支持されている。

